

来週の『売り物』記事はこれ



2015年10月30日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

石垣・台湾交流秘話 守り抜いた赤土のパイナップル 11月1日(日)



沖縄・石垣島を代表する果物のパイナップル。実は戦前に入植した台湾人が苦勞の末に根付かせたものでした。マラリアと闘い、地元民との軋轢に悩みながら未開の土地を開墾し、パイナップルの収穫に成功。悲願だったパイナップルの出荷を始めます。ところが太平洋戦争が始まると、極度の食糧不足からパイナップルはぜいたく品として栽培が禁止されまし



た。軌道に乗り始めたパイナップル産業。入植者はあきらめきれず、パイナップルの苗を山に隠しました。戦後、その苗を見つけ出して栽培を再開させます。やがて、米軍統治下で本土への輸出が始まると、パイナップルはサトウキビと並んで沖縄経済を支える基幹作物に成長しました。パイナップルを通じた台湾と沖縄の交流秘話。日中戦争から太平洋戦争と歴史に翻弄されながらも、果敢な開拓者精神で苦難の道を進んだ台湾人入植者の姿を追いました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

一足早く大予想！

今年の「新語・流行語大賞」に選ばれる言葉は？

夕刊2面特集ワイド 11月4日(水)



今年も残すところ2カ月となり、慌ただしい年末が目前に迫ってきました。そんな年末の恒例行事の一つに、「ユーキャン新語・流行語大賞」(「現代用語の基礎知識」選)があります。戦後70年の節目だった今年も、「ドローン」「一億総活躍」「戦争法案」などさまざまな言葉が飛び交いましたが、どんな言葉が大賞に選ばれるのでしょうか。候補60語の発表を前に、コラムニストの中森明夫さんら新語・流行語に敏感な識者3氏とともに今年の選考の行方を予想します。

「Tokiko's Kiss」

おんなのしんぶん  11月2日(月)

月1回掲載の加藤登紀子さんの対談コーナー。今回のゲストは、作詩家で作家のなかにし礼さん=写真=です。

なかにしさんは、作詩家として活躍する一方、小説「長崎ぶらぶら節」で直木賞を受賞するなど小説家としても知られ、その多才ぶりで注目されてきました。デビュー曲を手がけた加藤登紀子さんとは旧知の仲。なかにしさんが再発したがんの治療を受けながら「サンデー毎日」に書き続ける小説やヒット曲に込めた思い、戦争体験などについて語り合いました。



犬の食物アレルギー

くらしナビ面 11月3日(火)



愛犬が頻繁にかゆがっている姿を見ると心配になります。犬の3大皮膚疾患の一つに「アレルギー」が挙げられますが、犬の楽しみにしている食事が原因である可能性については、あまり知られていません。もしも食物アレルギーならば、症状改善には食事の管理が欠かせなくなります。食物アレルギーの検査方法や対策について、専門家に教えていただきました。

古くて新しい嫁姑問題

くらしナビ面 11月4日(水)

「女の気持ち」(東京本社版)で、義母の態度について悩みや思いをつづった主婦(55)の「義母」(10月14日)に多くの反響が寄せられました。読者から女性への励ましのほか、「ストライキしてみる」「夫を味方につけてみては」といった対策の提案もありました。読者の声を紹介すると共に、古くて新しい嫁姑(しゅうとめ)問題について識者に聞きました。



「人生24句」が大きな反響

くらしナビ面 11月5日(木)



「ご自身の人生を24の川柳にまとめて送ってください」。毎日新聞で掲載している「脳を鍛えたい」の中のコーナー「脳トレ川柳」で10月、こう呼び掛けたところ、全国の読者から「私の人生24句」が次々と届きました。「五七五」の17音の間からは、喜びや悲しみに満ちた時間の流れが染み出し、誰の人生にもかけがえのない物語があることを気付かせてくれます。

須磨・明石の光源氏

朝刊文化面 7日(土)

文学作品の舞台を歩く「名作の現場」はエッセイストの酒井順子さんが紫式部「源氏物語」のゆかりの地、須磨・明石を訪れます。政敵に官職を召し上げられ、京を離れて須磨で謹慎生活を送る主人公・光源氏。華やかな宮中の生活から一転、ひなびた地で寄せては返す波を眺め何を思っ暮らしたのか。酒井さんが源氏の心情を分かりやすく説き明かします。



小学生新聞

小学生新聞 来週の
“売り物”、記事はこれ!



11月3日から動物を教育に取り入れている学校を紹介します。3日(火)は学校犬がいる東京・立教女学院小学校、4日(水)は新潟県長岡市でアルパカを飼っている小学校、5日(木)は東京都新宿区でヤギを飼っている学校と大阪でアヒルを放し飼いでいる小学校を取り上げます。4日の図解なるほどはシーテック。最新の家電市場をレポートします。週末は人気の編集長コラムを予定しています。